

教科シラバス(3年芸術科(音楽))

教科名	音楽	科目名	音楽Ⅱ	学年	3年(文系一般選択)	単位数	2
教科書と副教材		高校生の音楽2					
1. 科目目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。						
2. 学習方法	<p>高校音楽では、音楽Ⅰとの関連を図りながら、「表現」及び「鑑賞」の2つの領域にわたって学習します。</p> <p>「表現」は歌唱・器楽・創作の活動があげられます。いずれも人間の生きる営みとしての音楽を享受し、自己表現することが重要です。一人一人がのびのびと個性を主張し、かつ全体の調和を追及する中で、感動し、感性を高め、創造的な表現の能力を伸ばすことが大切です。「鑑賞」は音楽文化に対する理解を深め、そのよさや美しさを主体的に味わうものです。</p> <p>① 音楽Ⅰでは、音楽Ⅱとの関連を図りながら、表現と鑑賞の力をさらに伸ばします。</p> <p>② 様々な音楽活動を通して、人間関係の基盤を形成するとともに自己を確立し、「生きる力」の原動力を育むコミュニケーション能力を身に付けます。</p> <p>③ 音楽活動に宿る連帯感に支えられ、感動体験の共有をめざし、集団の中における自己表現力を身につけます。</p>						
3. 学習評価	評価は次の4つの観点から行います。						
	関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力			
	音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心をもち、意欲的に音楽活動をしようとしているか。	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取って創造的な音楽活動の工夫をしているか。	自己のイメージを表現するための技能を身に付けそれを生かして創造的に表現しているか。	多様な音楽に対する理解を深め、創造的に鑑賞しているか。			
	授業態度 学習の取り組み状況 (観察・聴取) 学習プリントの作成状況	学習の取り組み状況 (観察・聴取)	実技課題進捗状況 学習の取り組み状況 (観察・聴取) 創作曲	学習プリント			
評価は、学習の取り組み状況(観察・聴取)、実技課題進捗状況、学習プリント、授業態度を総合的に判断して決定します。定期考査は行いません。							
4. 学習サポート	<p>進路について</p> <p>芸術大学・短大・専門学校の音楽系を希望する人、幼稚園教諭・保育士を希望する人は、音楽を選択してください。</p> <p>遠い昔、人は天空に輝く星から宇宙の調和と秩序を見いだした。 そして調和と秩序は音楽の神秘と融合し、 やがて「響きの和」が生まれた。 果たして星たちの動く宇宙の響きが聞こえたのだろうか。 聴こうとするその行為がすでに音楽の始まりであり。 私たちの心の中に「ハーモニー」が生まれる。</p> <p style="text-align: center;">いっしょに音楽しましょう</p>						